

令和元年度 番組審議委員会

株式会社 信州ケーブルテレビジョン

■日時 令和2年3月27日(金) 10:00~11:30

■会場 (株)信州ケーブルテレビジョン会議室

■番組審議委員

(敬称略)

氏名	職業
岡田昭雄 (代理) 竹内 司	千曲市長 千曲市情報政策課長
栗原 達 (代理) 半田敏行	千曲商工会議所専務理事 総務課長
吉池伸光	信州千曲観光局事務局長
池田文子	戸倉上山田商工会女性部長
堀口 強	さらしなルネサンス事務局長
荻原祥子	湯上り美女連代表

山浦宏一	信州ケーブルテレビジョン専務取締役
塚田嘉次	信州ケーブルテレビジョン放送部長
坂口静恵	信州ケーブルテレビジョン放送課主任

■視聴番組

◎台風19号・東日本台風の緊急放送(抜粋)・・・約15分

2019年10月12日夜から13日朝にかけて発生した台風19号にともない、庁舎周辺に増水していく様子を定点カメラで中継。避難情報などを放送。また災害対策本部が設置された庁舎の庁議室と中継を結び、市長の報告など13時間余りの中継映像をまとめたもの。

○意見交換・要望など

半田：市役所職員だった時代も、イベントや行事の情報発信で役立てさせていただいた。

台風19号では、有線農事放送は言葉だけなので心配もあるが、ケーブルテレビは映像なので、目で見える情報として助かった。この度の台風19号で千曲商工会議所は、床上75cm、室内は35cmの浸水被害があり、ほとんどが水と泥だった。10日ぐらいかけて清掃したが匂いと泥が取れなかった。600万円かけて建物の補修をした。結構国からの補助金もあるというが、会議所は固定資産台帳に掲載されておらず(台帳に載っていないと補助金が出ないといった厳しい状況がある)貯金をはたいて補修した。新型コロナウイルスについては、会議所は現在1000会員程いるが、飲食店の被害が厳しい。昼間の営業もあればまだいいが、夜だけの営業のところは大勢の懇親会は中止。キャンセルも多数。

竹内：台風 19 号については、非常にタイムリーに放送いただいたと感じる。

庁舎が新しくなって、市議会中継などは、今までとは違う中継システムになったりしているが、逆にケーブルテレビ側で放送に不都合になった点などあればお聞きしたい。また加入状況など。

山浦＞世帯数は、千曲市全体で 8000 世帯弱、約 30%の加入率。

竹内：御社で提供している生活情報について、見る側としては役立つ情報でありがたい。

特に子供のいる家庭では、入学式・卒業式に始まり学校行事を取り上げていただき感謝している。引き続き市も細かく情報提供するので発信をお願いしたい。

特に、今回の台風については、深夜から朝にかけて大きな動きがあったので、市民にとっては良い情報だったと思う。屋外告知放送もあるが、それだけではなかなか情報が伝わりづらい。

また今は、メールもあるので（スマートフォンなど）使える人はいいが、高齢者には厳しい。

どうしても目で見える情報は必要。引き続き役立つ情報を期待したい。

塚田＞災害本部の中継についても、千曲市の協力で庁議室に光ケーブルを入れたため、災害時は対策本部の情報や市長からの生の声を伝えることができた。

竹内：特に定点カメラが活躍していたと感じる。市役所自体も孤立して、職員が出ていられないし戻れない状況になったので周辺の状況が分かり助かった。

山浦＞今回は、たまたま浸水被害の集中した場所が、局舎の周辺だったので定点カメラを生かすことができたが、ほかのエリアで災害が起きた時に、同じように中継できるかという点と難しい。

そのあたりが設備面等含め今後の課題。引き続きご意見・ご相談等させていただきながら、できる限り対応できる形をつくりたい。定点カメラについては、何か所か追加するなど整備をかけている。

あくまでも中継できる回線が確保できる状況がある場所に限定されるので、無い場所についての情報収集はどうしても課題。また、ひと昔前なら「とりあえず現場に行って撮影してこい」が主流だったが、今の時代、放送業界の中でも「人命優先」、「無理させるな」という社会的動きもあるので、いかにバランスをとって情報を得るかが難しい。昔と違い機械も発達してきているので、人的ではなく機械に頼る情報発信技術もやっていきたい。

荻原：ゾッとする一夜だったが、地元密着のライブ配信のおかげで、皆さん少しは安心できたのではないと思う。戸倉上山田に関しては、一部で浸水もあった。

ライブ配信の中で、千曲川の水位は分かったが避難勧告は一斉であり、後日ご年配の方から、自分たちが今、どこに避難するべきかが具体的にわからなかったという声があった。

その時、旅館としてご近所や仲間内に携帯でお知らせして何人かは旅館で一夜を過ごしてもらった。

高齢者の中には、避難所が遠いと感じる人も多いので、もっと旅館が一般開放して「この旅館は何人受け入れられますよ」など、ケーブルテレビを通じて情報発信すればよかったと後悔している。

新型コロナウイルスに関しては、県内からのお客様が宿泊し、「旅館で一時、コロナを忘れられた」と言われた。日々のニュースも、なるべく明るい話題も提供していただければ、コロナで暗い情報が多いため、気分もそれるのではないと思う。

その一つとして、地域の取り組みも、大きな団体の活動だけでなく、5、6人と数人の仲間うちで頑張っている人たちも結構いるので、そうした人たちの日々の活動などを取り上げていただくだけでも希望が持てるのではないと思う。

塚田>台風の中継では、情報が乏しく苦しんだ部分もあった。ぜひ情報提供いただきたい。

堀口：ケーブルテレビは、動画と言葉で訴えるので大きい。自分も情報発信のツールとして良く使用させていただいている。

特に今回の台風では、自分も初めて避難した（避難場所は戸倉庁舎だったのだが、色々と考えさせられることもあったそれは市へまた伝えたい）

テレビから千曲川の水位と増水の状況をリアルに知ることができた。今回は、水流の力に驚かされた。避難を決めたのは、ケーブルテレビの中継を見たから。私以外にも相当テレビを見て避難した人がいるのではないかと思う。

それにつけても（そうした情報を活かすために）加入率をもっと上げてほしい。

行政の危機管理面と同じで、情報発信というソフト面も同様である。視聴者を増やして情報を役立ててほしい。加入者を増やすための課題などあれば逆に教えてほしい。

現在の生活情報、学校情報だけでは難しい面もある。色々な面からニュースソースを検討して、できるだけ多くの人に見てもらえる環境づくりをしてほしい。

案としては、一般市民も取材を依頼しやすい環境づくり。自分は社員のみなさんを知っているので提供しやすいが、一般の人は情報の提供方法を知らないのではないか？提供しやすい環境づくりを。

また、これから起こるイベントの情報を徹底的に出してほしい。

文字案内等を出していただいているのも知っているが、情報を幅広くキャッチしてもっと提供してほしい。

山浦>今回の緊急時に関しては、同業者の何社かが、コミュニティー放送を抜粋してネットに挙げるなどもしていた。今後緊急時に関しては、当社も検討しなければならないと思う。

今回の台風は、設備に被害が出なかったことが幸い。長時間にわたる停電に関しては発信すらできない状況になる可能性もある。そこをカバーするだけの環境づくりも検討。

また、情報提供については、昔より多くいただけるようにはなったが、同じ人からが多い。新しいところからの情報提供不足は否めない。情報提供先については、電話、FAX、メールでも受け取る体制はあるが、周知が足りないと受け止めている。

吉池：今回の台風では、一番は身近な場所の状況が気になる場所だったので、多局よりは身近な情報が直接目で見られてよかった。避難所に何人避難したという情報があると避難するきっかけになったので、市長のコメントや避難者数等が役にたった。

自分は、プロ野球ファンなので、G+を目当てに加入した。

近藤：新型コロナであんずまつりをはじめ、様々な行事が中止になっているが、あんずの里は、花が咲き始めたので窪山展望台に店を出しアンズ製品の販売を始めた。自粛と言っても花が咲けば駐車場の前が渋滞になるほど客が来ている。

日々、身近な情報は、ケーブルテレビからいただいている。

今回の台風については、森地区としては被害こそなかったが、定点カメラの映像通じて市内のほかの

地域の状況が知られて良かった。

また、アズの開花L I V E映像は、上平展望台からの映像だが、映っている部分がアズ栽培をやめてしまった農家の場所で映像的に寂しい。

それより下の場所のほうがきれいに咲いているのでそちらを映してほしい。

山浦>現在設置しているカメラの位置は、許可をいただいて設置している場所。より良い撮影場所があればそちらに移動することは可能だが、逆にそうした場所があれば教えていただきご許可いただくとありがたい。

池田：ケーブルテレビには、商工会もそうだが、国際ソロプチミスト千曲でもお世話になっている。

御社の番組で気になっているのは、現在放送している「ナッキーTV」の音声小さくて聞きにくい。

せっかく内容的に良い番組なのに音声面が本当に残念。改善できないか？

塚田>「ナッキーTV」については、個人的にスマートフォンで撮影したインターネット用の番組を提供していただいているため、音声補正は厳しい部分もある。提供してくれている小林さんに伝えます。

◆補足

今回の審議会は、新型コロナウイルス感染予防対策に伴い、会議のみ短時間で実施。

出席者には手指の消毒やマスクの着用にご協力いただくなど体制を整えて開催した。



※参考画像



以上